

R5 おおいた ものづくり

発見! ブック

すごいぞ!
みんなの周りの日本一
メイド イン オオイタ



大分県



みんな、大分のさまざまな企業きぎょうが、身の回りのいろいろな製品せいひんをつくっていることがわかったかな?
この本に登場する企業の技術一つ一つが、日本のものづくりを支えているんだ。興味きょうみがわいた企業のことをみんなで調べてみてね。



年 組

名前

この本を読む小学生のみなさんへ

この本を通じて、小学生のみなさんに知って欲しいことは二つあります。

一つ目は、わたしたちの毎日の暮らしは、たくさんの「ものづくり」に支えられて成り立っているということです。例えば、わたしたちの日々の食べ物を世界中、日本中から運んでくれる大きな船や自動車も、一つ一つの部品それぞれが、数え切れないほど多くの人たちのたゆまぬ工夫や努力の積み重ねで、できあがっています。

二つ目は、みなさんが住んでいる大分県は、そうした「ものづくり」については、日本でも、また、世界でもトップクラスの地域だということです。大分で作られた様々な製品が、日本中の人、世界中の人の暮らしを支え、より良いものになっています。

みなさんが、この本を読んで、「ものづくり」に興味を持ち、大分県がすごいところなんだと感じてくれれば幸いです。そして、大人になったら、日進月歩の大分の「ものづくり」の世界に飛び込んで、みなさんそれぞれの知恵と工夫を生かしてくれれば、と願っています。

大分県教育委員会教育長 岡本天津男
大分県商工観光労働部長 利光 秀方

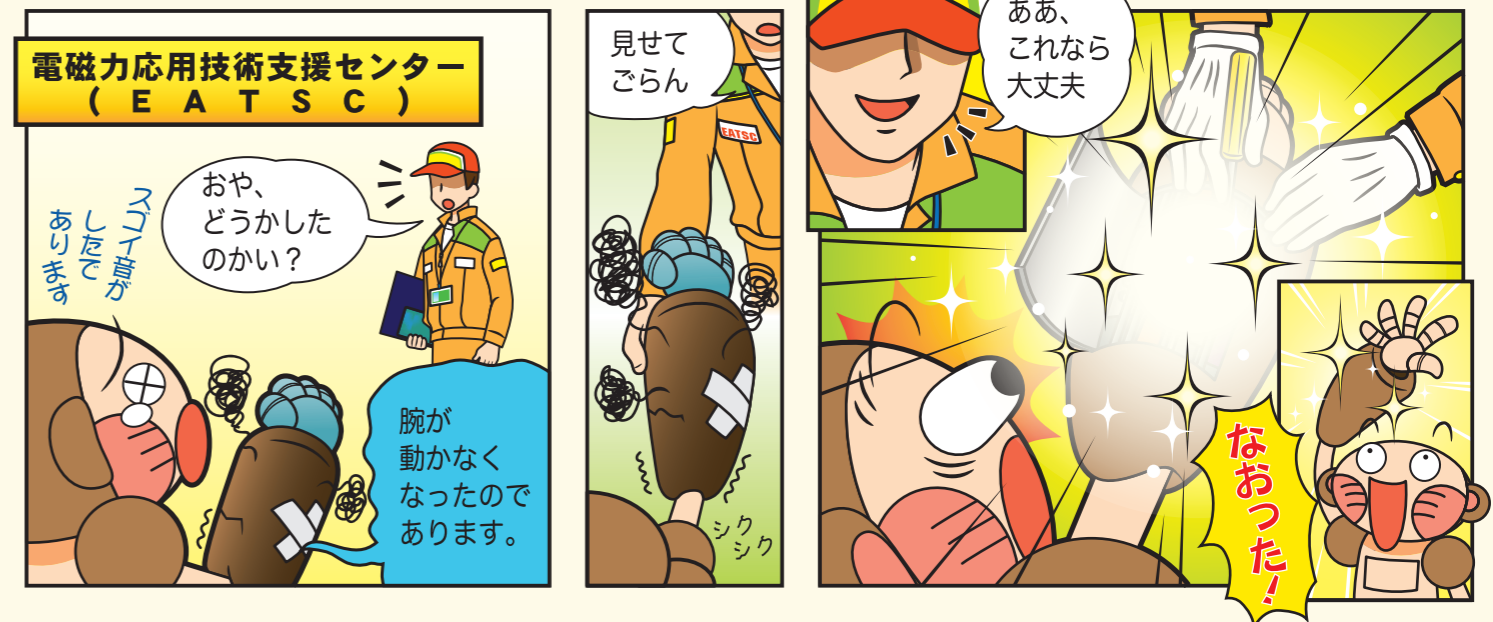
目次	この本を読む小学生のみなさんへ	1
	サルロボ 現在の 大分に来る	2
	ぼくんちの朝	4
	産業のもとになる材料…金属	7
	学校へ行こう	10
	世界の海へ！ 大分の船、船ができるまで	15
	ようこそ。溶接の世界へ	16
	ぼくの学校生活	18
	手作り味噌をつくってみよう、 地産地消の取り組み…県産麦でできる麦焼酎	23
	世界に羽ばたく メイド・イン・Oita	25
	社会見学で次世代エネルギーパークへ	27
	大分県次世代エネルギーパークに行ってみよう	29
	発電の原理	30
	社会見学で自動車工場へ	31
	自動車が出来るまで	33
	自動車製造を支える基盤技術	34
	おばあちゃんの病院	35
	仕事って何？～ものづくりの仕事～	37
	ぼくの夢	39
	宇宙への挑戦！！	42
	空や宇宙に向けた県内企業のチャレンジ	42
	さまざまな分野で用いられる半導体	43
	暮らしに仕事に、広がる新技術（IoT、ドローン）	44
	科学技術やものづくりをもっと知りたい、体験したいキミへ	45
	県立工科短期大学校	46
	大分県を支える工業高校	47
	掲載企業一覧	49

現在の サルロボ 大分に来る

何十年先か、ひょっとすると意外と近いかもしれない未来の話。

大分の高崎山の近くに、ものづくりや技術が大好きなロボットがいました。名前はサルロボ。いつもは友達の間やロボットといろいろなものをつくったり、発明したりして楽しく過ごしていました。

ある日、サルロボの腕がものすごい音を立てて動かなくなりました。困ったサルロボは、修理をしてもらうために電磁力応用技術支援センターというところに駆け込みます。そこで、サルロボは驚くべき体験をするのです。



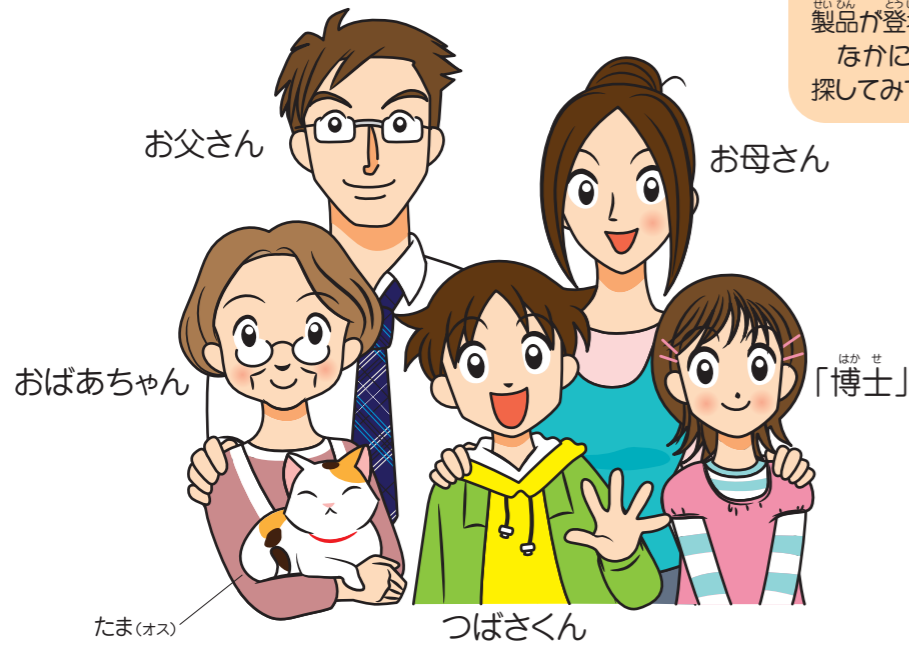
ということで、サルロボは日記の作者であるつばさくんにあうために、現在の 大分 に旅立ったのでした。

さて、現在にきて、やっとの思いでつばさくんを見つけ出したサルロボは…



では、みんなもサルロボやつばさくと日記帳を見てみましょう。

登場人物紹介



この本にはたくさんのすごい技術でつくられた製品が登場するよ。なかには日本一のものもあるんだ。探してみてね。



サルロボ

ちよっと
むずかしい
言葉

- made in (メイド・イン) ~……「~でつくられたもの」という意味の英語
- 工業製品………原材料を人の手や機械を使って加工し、新たにつくり出されたものこと
- シェア………市場 (例えば、全国や世界の市場) の中で、ある会社の製品が占める割合のこと
- 基本となる単位 (例えばgやm) の前に

数が大きくなると	K (キロ)	M (メガ)	G (ギガ)	T (テラ)
	千倍	百万倍	十億倍	一兆倍
小さくなると	m (ミリ)	μ (マイクロ)	n (ナノ)	
	千分の1	百万分の1	十億分の1	

ほかにも、この本にはいろいろとむずかしい言葉が使われることがあります。先生に聞いてみたり、辞書やインターネットで調べたりして勉強しましょう。

という記号がつかます。

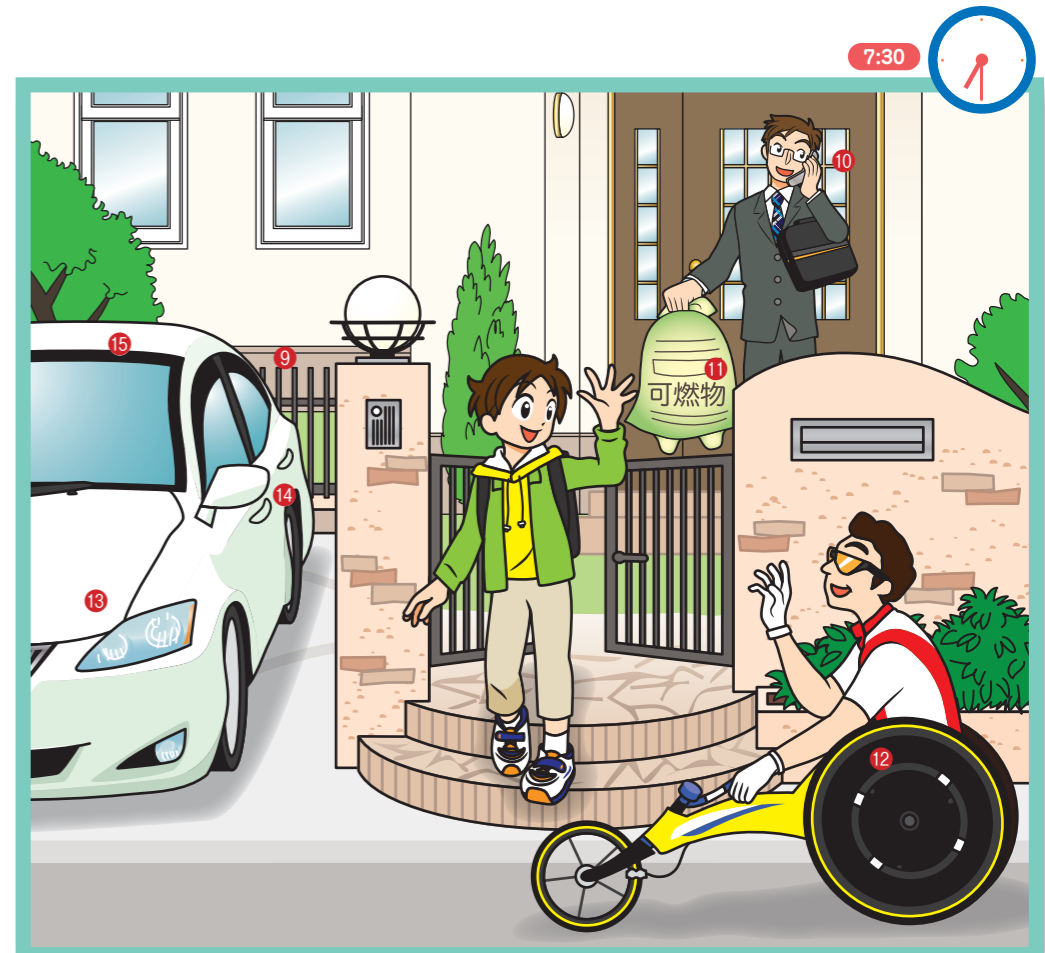
ぼくんちの朝



ぼくんちは最近、トイレとろづかを新しくした。節水型だけどパワフル水流のトイレと、木の継ぎ目がなく、くつ下が引っかからないゆかのおかげで、気持ちよく余ゆうの出発。と思ったらお母さんから「トイレのドアが開まってないわよ!」って注意された。

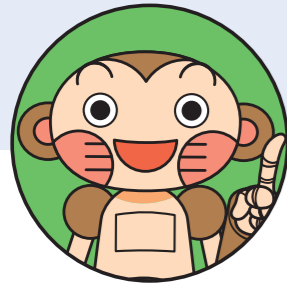
ぼくは小学5年生にもなったからそんなことしないよ。

おかしいな?



朝のゴミ出しは、お父さんの当番。最近買ったゴミぶくろは結びやすく、手さげぶくろみたいになるので持ちやすくなったとお父さんが言っていたよ。

ゲンカン先でいつも会うのは、となりのお兄さん。毎日車いすマラソンの練習をしていて、大分国際車いすマラソン大会では大かつやくをしたんだ!




つばさくんは元気に学校に出発したね。さて、このシーンはぼくの目で見るとこんなふうに見えるんだ。どんなメイド・イン・大分が登場するのかな？ みんなで考えよう！

1 竹の花籠 別府市

別府竹製品協同組合

別府竹細工は、長い歴史を持った国指定の伝統的工芸品。竹ヒゴをさまざまな形に編み上げる「編組」技術が特徴で、竹工芸品では国内有数の生産額を誇っています。海外からの評価も高まっています。



2 電気製品の配線に使われる銅 大分市

JX金属製錬 佐賀関製錬所

銅などが混じっている鉱石を溶かして、純粋なものにする「製錬」をしている工場です。この工場の自溶炉（銅を溶かす炉）は1つの炉としては、**世界最大級**の生産処理能力を持っています。銅は金属の中でも電気をよく通す性質があるので電線や自動車のハーネス、スマートフォンなどにも使われています。銅以外にも金や銀といったレアメタルも生産しています。（→P7で詳しく紹介）

3 トイレトペーパー 大分市

大分製紙（下を見てね）

4 トイレの便器 中津市

TOTO サニテクノ


衛生陶器（トイレの便器）などをつくっています。最近では、流すのに使う水の量を節約した「**超節水型トイレ**」を開発して、環境にも配慮したトイレづくりが行われています。



5 フローリング(床) 大分市

池見林産工業

無垢材という一本の木からとれるつなぎ目のない木材を、床や壁に使っています。1ヵ月でサッカーのグラウンド約6面分（約4万㎡）の国産針葉樹製の無垢材（一枚物）の建材をつくっており、生産量は日本一です。



6 日田下駄 日田市


大分白田げた組合

大分県産のげたや木製サンダルは江戸時代から続いている産業であり、今でもその伝統が引継がれています。材料には日田杉を使っていて、木をげたの形に削ったり鼻緒を付けたりする仕事ごとに工場があり、それぞれ協力しあっています。

8 段ボール 大分市

王子マテリア 大分工場

一度使われた紙を再利用してつくる段ボール原紙（段ボールの表面に使われている紙）を1年間に約30万t（大分市民47万人全員が、紙を毎日約1.7kg使える数量）もつくっています。



7 各種プラスチック製品などに使われるエチレン・プロピレン 大分市

大分石油化学コンビナート（レゾナック 大分コンビナート）（下を見てね）

9 家の土台に取り付けられたゴム 国東市

スターコックス

家が地震で揺れたときに振動を吸収して倒れないようにする高機能ゴムをつくっています。また、自動車用のゴム製品もつくっています。

15 鉄(自動車) 大分市

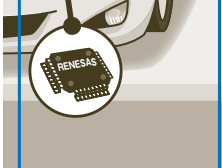
日本製鉄 九州製鉄所大分地区

年間で約1,000万t（普通乗用車で1,000万台分）の鉄をつくっている日本を代表する製鉄所。鉄のもと（鉄鉱石）を溶かす高炉は九州製鉄所大分地区のものが**世界最大級**です。（→P7で詳しく紹介）

24 車載用の半導体

日出ハイテック

車向けを中心に、半導体ICの開発・設計・製造を行っています。製造したICは国内外で多くの車に用いられています。



17 自動車、半導体部品 豊後高田市

佐々木精工

自動車（電気自動車を含む）、半導体部品を組み立てるオートメーション装置や太陽光パネルのリサイクル装置などをつくっています。

13 車載用の半導体 中津市


ルネサス エレクトロニクス 大分工場

マイコン・SoCと呼ばれる半導体を主に製造しています。大分工場で行われた製品は自動車や通信系などを中心に、幅広く日常生活の中で活躍しています。

14 ガソリン 大分市

ENEOS 大分製油所


原油をガソリン、灯油、軽油などに精製する九州唯一の石油精製工場。1日で21,622㎡（25mプールで約51杯）もの原油を精製します。



10 半導体の開発 日出町

日本テキサス・インスツルメンツ 日出パッケージングセンター

アメリカのテキサス州に本社がある、半導体を製造している世界の中でも大きな会社です。半導体は携帯電話などの電化製品を動かすとても大事な部品です。日出パッケージングセンターでは、半導体のパッケージング開発などを行っており、いろいろな工場へその技術を展開しています。



11 ゴミ袋 大分市


日本フィルム（下を見てね）

12 競技用車いす 日出町

（マラソン用）**ホンダ太陽**（下を見てね）


日本フィルム

ゴミ袋の上下に握りやすい回収者用安全グリップをつけて、袋の口を結びやすくし、ゴミを回収する作業員のケガを防止する工夫がされています。また、製品の形をロール式にして、余分な包装をなくし、ゴミの減量化も図っており、全国の市町村から指定ゴミ袋の注文を受けています。




ホンダ太陽

転がり抵抗を軽減することや車体の軽量化などホンダがF1レースで研究した技術を活かし、競技用車いすの設計から製品化まで行っています。早さを追求したカーボン製の車いすはリオパラリンピックでも使用されました。またホンダ軽自動車のエンジンの部品やバイクの部品もつくっています。




写真提供：「パノラマ風景写真で観光する大分県」
http://panorama.photo-web.cc/

いろんな所に大分県でつくられた製品が使われていたね。みんなはいつ分かったかな？ みんなの家でも探してみよう。



大分製紙

OA用紙、牛乳パック、カタログ、チラシなど一度使われた紙をリサイクルしてトイレトペーパーをつくっています。1年間に70,000tを作っており、この生産量は全国トップクラスとなっています。また、日本銀行が回収した古いお札（紙幣）もトイレトペーパーとして生まれ変わっています。



大分石油化学コンビナート(レゾナック 大分コンビナート)

レゾナック大分コンビナートを中心とした12社でつくられているコンビナートの規模は**全国トップクラス**です。レゾナック大分コンビナートでは、石油からできたナフサを利用してプラスチックや合成ゴムなどの原料となるエチレン、プロピレンなどをつくっています。





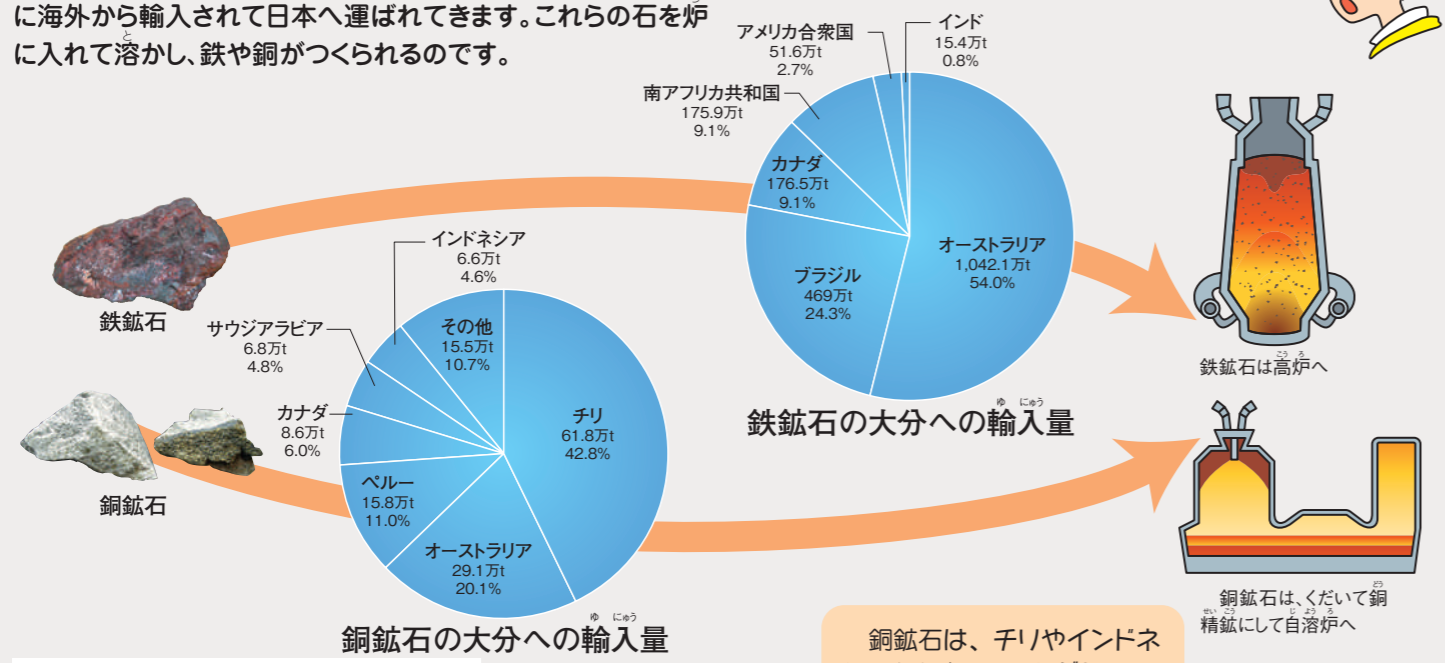
産業のもとになる材料…金属

大分には、機械やものの部品に使われている鉄や銅などをつくっている企業もあります。ちょっとのぞいてみましょう。

金属のもととは石?

鉄や銅のもととは鉱石と呼ばれる石。鉄鉱石や銅鉱石は、おもに海外から輸入されて日本へ運ばれてきます。これらの石を炉に入れて溶かし、鉄や銅がつけられるのです。

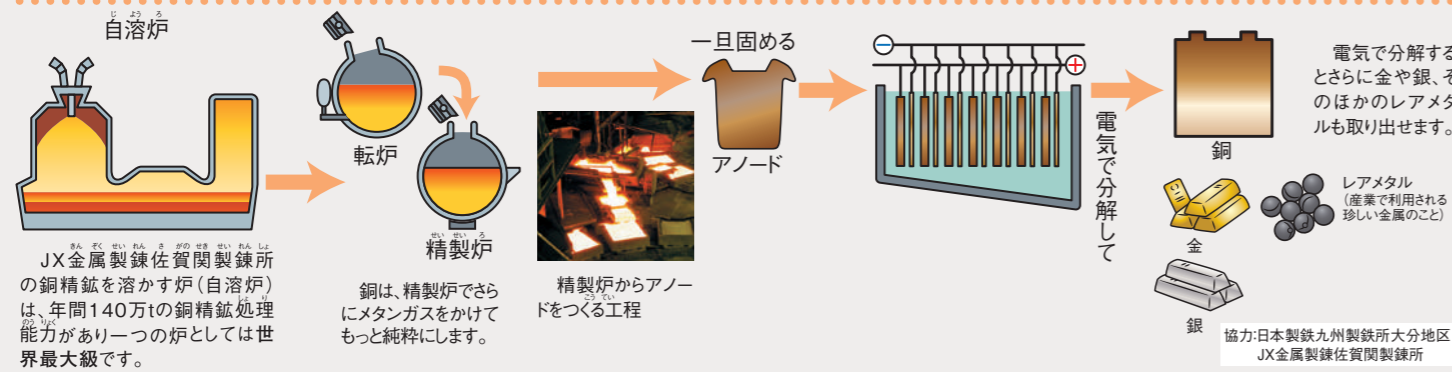
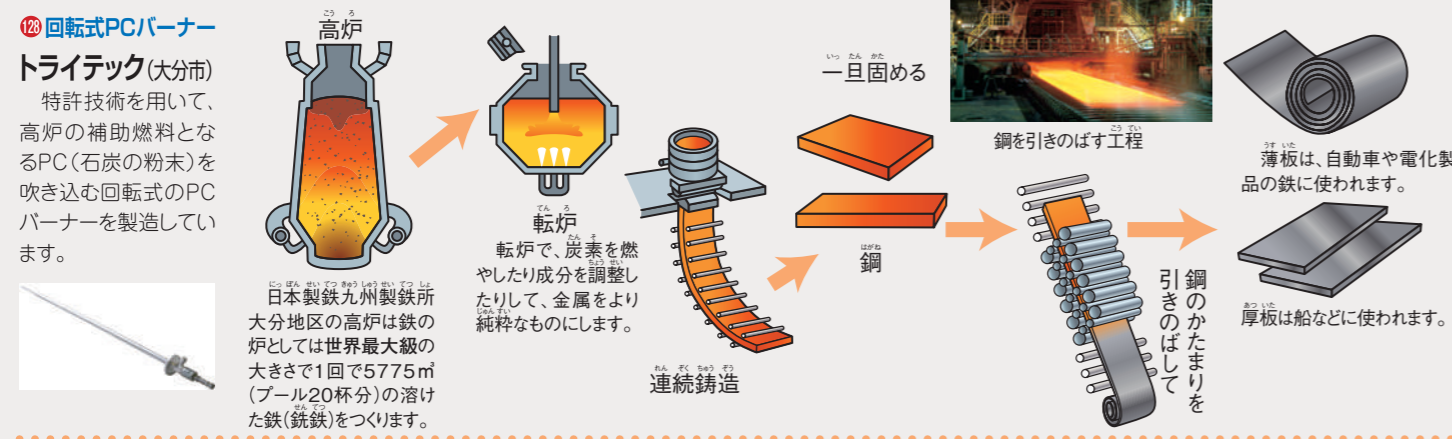
鉄鉱石は、オーストラリアやブラジルから大分へ来ているんだ。



銅鉱石は、チリやインドネシアから来ているんだね。

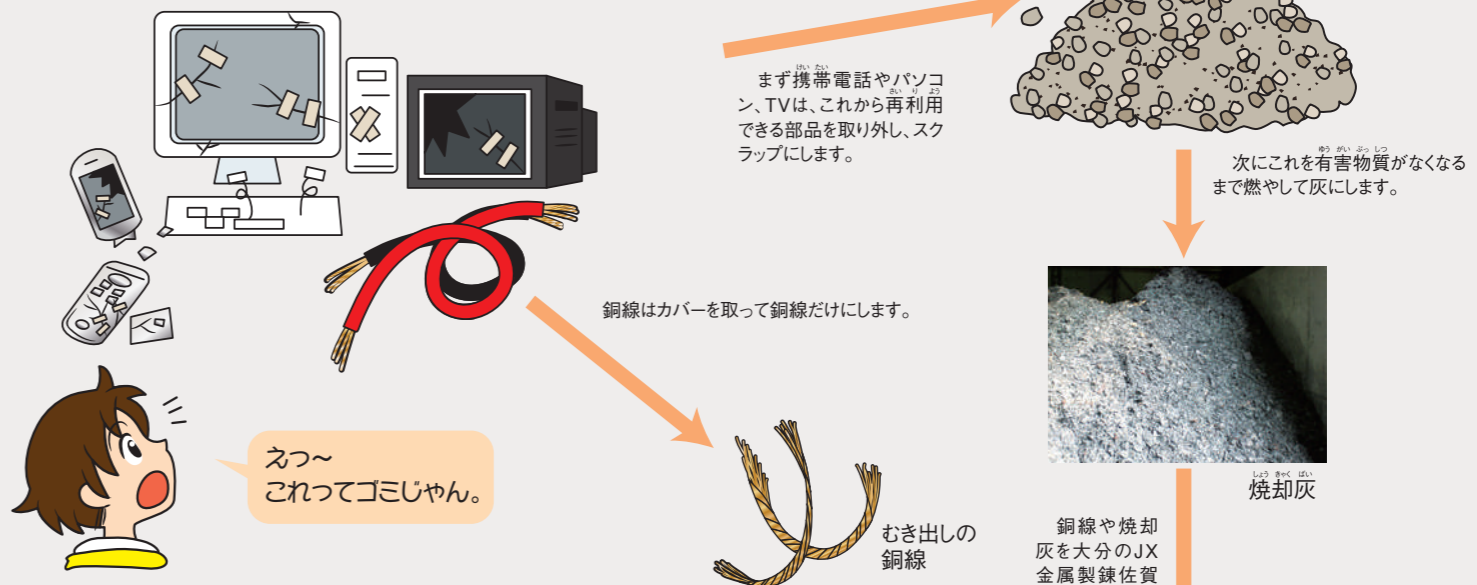
世界最大級の炉

鉱石を溶かすためにつくられた設備を「炉」といいます。まずは炉で鉱石を溶かし、不純物を取り除いて鉄や銅だけで固めていきます。



発見! 都市鉱山

鉄鉱石や銅鉱石は、鉱山と呼ばれる鉱石がとれる場所からとり出されています。こうした鉱山は、今の日本にはその数が少ないので、外国から輸入して使っています。しかし、日本にも鉱山と同じような「宝」の山があるんですよ。



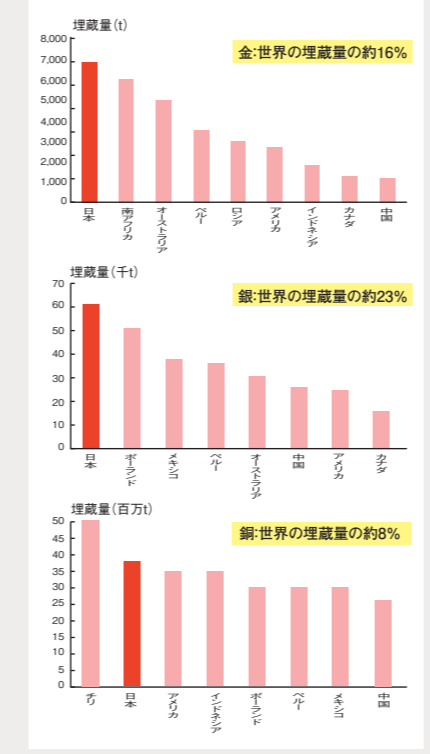
ゴミを侮ることなかれ。電子部品の中に含まれている貴重な金属は、鉱石の中に含まれているものよりも多いんだ。

携帯電話・PHSに含まれる有用金属の含有状況(1t中のg数)

鉱種	携帯電話・PHSに含まれる有用金属	鉱石の平均値(参考)
金	400	0.92
銀	2,300	93
銅	172,000	12,000
パラジウム	100	181

資料: 環境省「平成20年度版 環境循環型社会白書」(一部編集)

日本の資源の埋蔵量(リサイクルできるものも含む)



こうしたリサイクルできるものも含めると日本の資源の埋蔵量は、金、銀では世界一、銅では2位になるんだ。まさに、都市の中にある鉱山だね。

だから都市鉱山か! 大分にゴミから貴重な金属を生み出しているところがあつたんだね。

まとめ

鉄やアルミだってリサイクル。空き缶も立派な都市鉱山の鉱石だよ。みんなはちゃんとリサイクルしているかな。お家でリサイクルできそうな金属や製品を見つけてみよう。

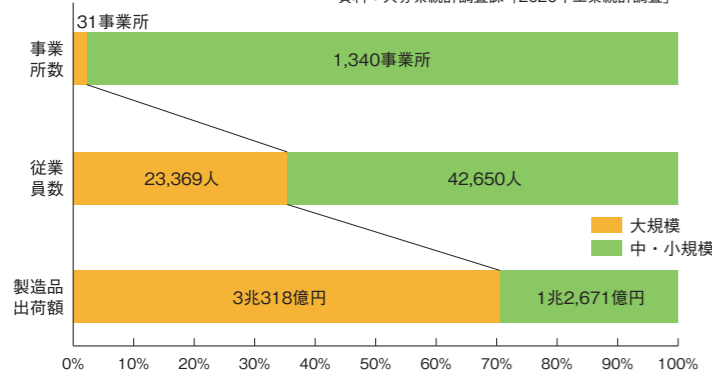
メモ

○自分の身の回りの工業製品を書き出してみよう。

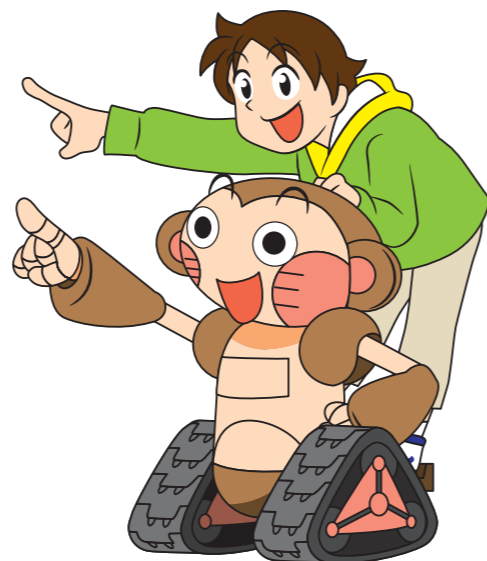
○金属製品がどんなところで使われているのか書き出してみよう。

県内製造業の従業員規模別統計表

資料：大分県統計調査課「2020年工業統計調査」



注) 表中で使用した企業規模については、統計の都合上、従業員規模が299人以下を中小規模とした。また、表中の製造品出荷額については、工業統計調査で使用されている「製造品出荷額等」を記載した。



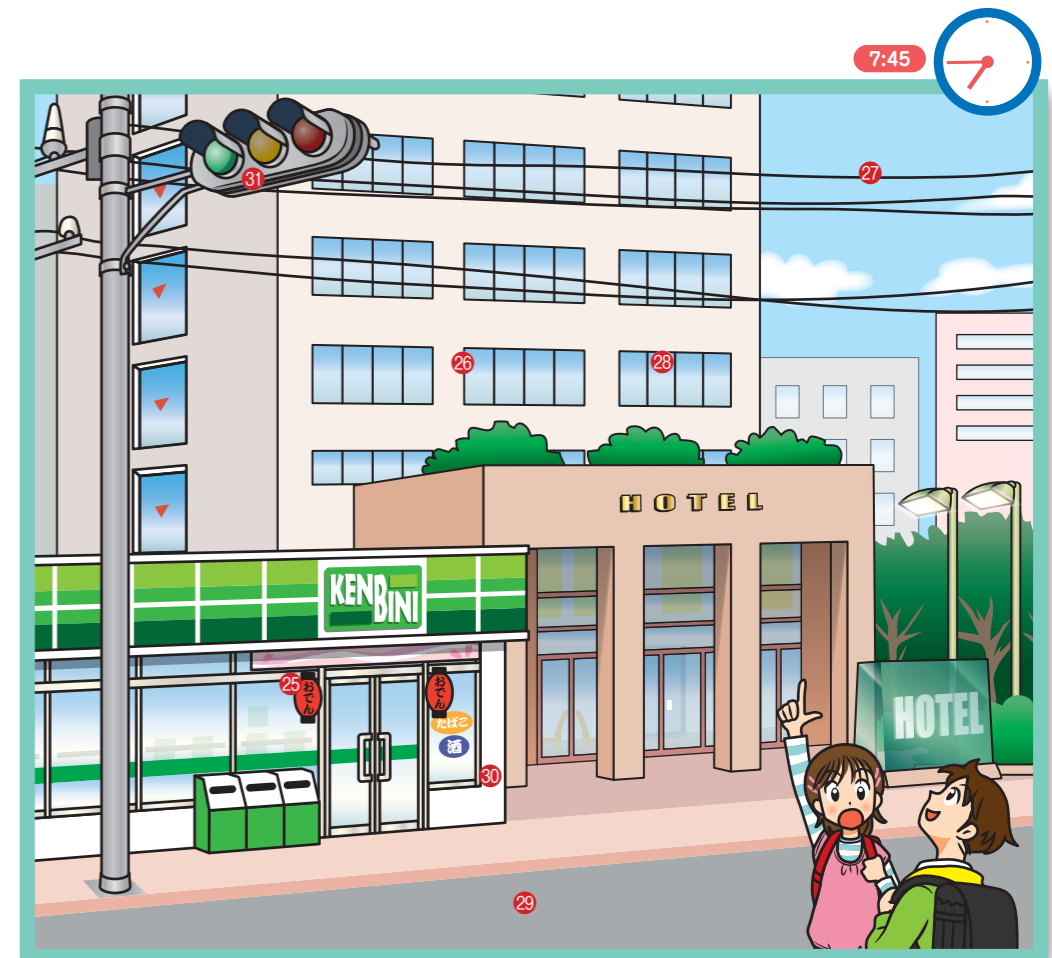
学校へ行こう



近くに住んでいる「博士」と一緒に学校に行く。彼女の電車好きは近所でも有名で、ついたあだ名は「電車博士」。

今日の話題は、新幹線について。新幹線は、毎日、博多から東京まで約1,200kmを1往復半するから、高速で安全に新幹線を動かすためには、丈夫な部品が必要なんだって。でも、実は博士は一度も新幹線に乗ったことがないらしい。

ほくもだけど。



通学路の向こう側に新しくホテルとコンビニができた。最近のコンビニは、スマートフォンで買い物ができるらしい。とても便利なんだって！

博士は「便利なのは電気のおかげだよ」だって。その電気は電線から送られる。台風や大雪の時でも、どこにでも電気を届けられる電線もすごいよね。



通学路からは港が見える。ほとと博士は、毎朝、港を見ながら登校しているんだ。港には大きな船がいくつも浮かんでいる。近くには、造船所もあって、たくさんの部品がいくつも運ばれてくる。あんな鉄のかたまりが何で海に浮くんだろ？

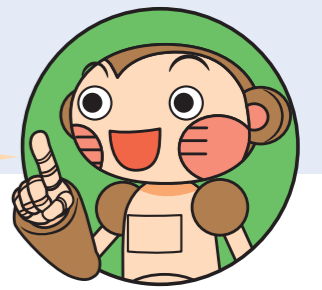
となりではでっかいクレーンがコンテナをいっぱい船に積んでいたよ。

こんなに大きいものをつつたり、動かしたりするのも、全部人間が作業してるんだ！

すごいよね。

乗り物は丈夫でカッコいいし、いろいろな技術が詰まっているんだね。ほくも興味わいてきちゃった！

このシーンでは、学校に行くまでの間に見つけたものを見てみよう。



17 高速鉄道の屋根カバー 佐伯市
長尾製作所

半導体や液晶テレビの製造装置に使用される部品をつくる技術を生かして、高速鉄道などで必要な車両部品をつくっています。車両部品の一部は海外でも使用されています。

18 新幹線のパンタグラフのすり板 大分市
帝国カーボン工業
(下を見てね)

16 新幹線の喫煙コーナー 佐伯市
二豊鉄工所

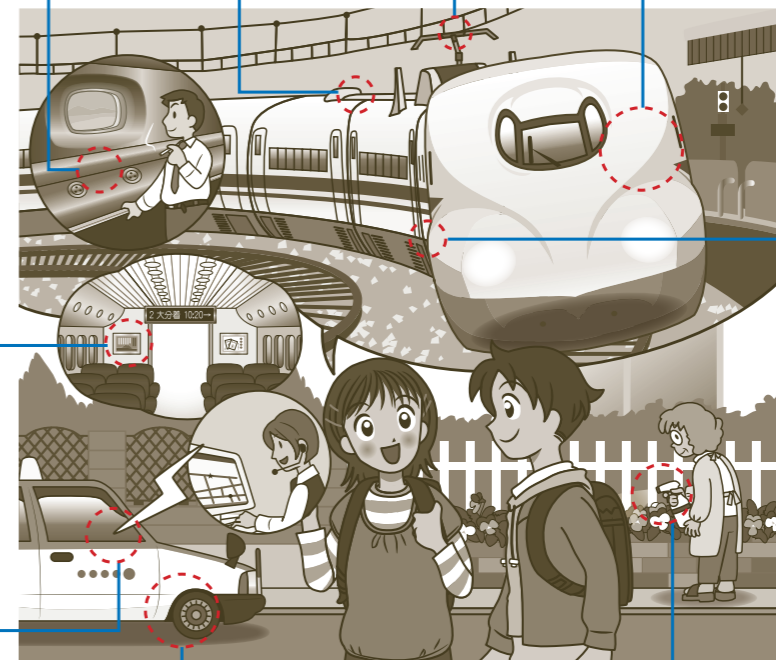
鉄道用車両の内装部品をつくっています。半導体の製造装置、医療機器、食品機器などの金属部品もつくっており、身近な生活を支える金属の加工に取り組んでいます。

19 新幹線の塗装 大分市
大分石油化学コンビナート(東亞合成)

コンビナートでつくられるプロピレンなどを利用してアクリル酸エステルといわれる耐候性、透明性等に優れた新幹線に使われている塗料をつくっています。

23 塗料、印刷インク用溶剤 大分市
大分石油化学コンビナート

(レゾナック大分コンビナート)
コンビナートでつくられるエチレンを使って酢酸エチルといわれる印刷インクなどの溶剤をつくっています。酢酸エチルは環境に優しい溶剤として注目されています。



129 電気制御用半導体 大分市
大分デバイステクノロジー

電気モーター(電車/電気自動車など)の電源供給制御や、交流/直流電力変換に使われる、電力用半導体を作っています。

22 タクシーの配車管理システム 大分市
モバイルクリエイト

タクシーの利用者に、一番近い車がむかえに行けるように管理するシステムを開発しています。

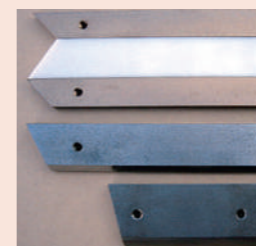
21 タイヤ 大分市
大分石油化学コンビナート(日本エラストマー)

コンビナートでできるブタジエンから合成ゴムをつくっています。合成ゴムは車のタイヤや履物など身の回りのものに使われています。

20 園芸用殺虫剤 大分市
住友化学 大分工場
(下を見てね)

帝国カーボン工業

長距離の走行に耐えられるように摩耗を少なくする工夫がされたパンタグラフ(電線から電気を受け取る装置)のすり板を開発し、全国のJR電車や私鉄電車に使われている金属すり板の約40%を占めています。北海道・東北・東海道・山陽・九州新幹線にも採用され、日本の高速鉄道の安全性の確保に一役買っています。



住友化学 大分工場

農業や医薬品のもととなる化学製品をつくっている工場。50年以上もつくっているスミチオンは、効果的に害虫を駆除することができ、人や環境にもやさしいため、農業用だけでなく、園芸用としても世界各国で利用されています。



一步進んだ豆知識①
船が浮く秘密

つばさくんや博士の通学路からは船がたくさん見えていたね。みんなは登校中にどんな景色を見ることができるかな？

大分でつくられたものが意外にあるかも。ところで船はなぜ海に浮くことができるのか考えてみよう。

① **1kgのおもりはすぐに水に沈むよね。**

でも船は1kg以上あるのに沈まないよ。なんで？

よくわかんないけど押し返される感じがするね。

② **まず、洗面器を水に沈めてみよう！**
水の中からもものを浮かべようとする力「浮力」が働いているんだ。

③ 浮力は、沈めるものの体積が大きければ大きいほど強くなるんだ。

1kgのおもりと1kgの鉄ナベで比較してみよう。

1kgのおもり = 1kgの鉄ナベ

同じ重さでもおもりより、鉄ナベの方が浮力は大きい。

だからナベは浮くけどおもりは沈む。これが船の浮く秘密です。

浮力はアルキメデスという人が発見したんだよ。どうやって発見したのかな？

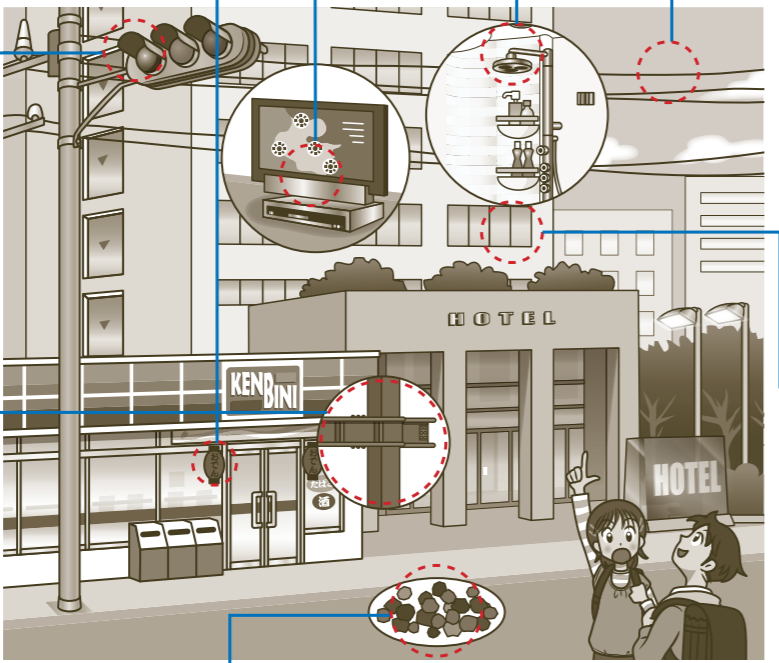
みんなも実際に粘土などを使って浮く原理を調べてみよう！

25 ピニール提灯 宇佐市
宇佐ランタン
(下を見てね)

26 ホテルのテレビに付いている機器 杵築市
ケイティーエス
ホテル向けの客室マルチメディアシステムをつくっています。全国で約10%のホテルで使用され、国内トップクラスの販売シェアとなっています。

27 電線の製造 大分市
西日本電線
(下を見てね)

31 信号機のフード 玖珠町
玖珠中央発条工業
薄い鉄板をプレス機で加工して、信号機やバイクの部品などを生産しています。その他にも、鉄を曲げたり溶接して、コンビニエンスストアなどで使われている大きな冷蔵庫の棚などもつくっています。



30 コンビニエンスストアの鉄骨 大分市
東鉄工業
コンビニエンスストアを建てる時の店の骨組みとなる柱をつくっています。九州内の多くのコンビニエンスストアで使われています。

28 シャワー 大分市
TOTOアクアテクノ
大分工場
高品質の水栓金具(浴室用シャワー等)を製造しています。特にシャワーバー水栓は、ワンタッチで簡単操作、お湯の温度が上下しないといった機能を持たせて、国内だけでなく海外でも好評です。

140 窓ガラス 日出町
九州ナノテック光学
オフィスや病院、家などのガラスの面を電気力で「見える透明」「見えない白濁」に一瞬でコントロールできるフィルムをつくっています。このフィルムはそれ以外にとってもキレイな映像をガラスにうつせます。この頃は、車の窓ガラスにも付くようになりました。

29 再生クラッシュラン 大分市
大総
ビルなどを解体したコンクリートを砕いて再利用し、道路の下地となる再生路盤材をつくっています。



宇佐ランタン
全国でもトップクラスとなる年間約30万個のピニール提灯を生産しています。オーダーメイドで生地印刷から提灯の製造までを一貫して行っており、短い納期で対応できるため、人気があり、全国各地で販売しています。また、障がいのある人が働きやすいように道具などに様々な工夫がされています。



西日本電線
安全・安心な生活に欠かせない電気やインターネット通信を運ぶ電線やケーブルを製造しています。これらの製品は、普段目にする電柱だけではなく、地下、工場やビルマンション、住宅などの見えないところにも張り巡らされています。また、停電をさせずに工事ができる機材や安全に工事するための工具なども合わせ、日本全国へ広く出荷しています。



32 旅客船 臼杵市
臼杵造船所
旅客船やケミカルタンカーなどをつくっています。姫島丸や国道九四フェリーはここでつくられました。また、ケミカルタンカーについては鉄とステンレスなど種類の違う金属同士の溶接をする技術をもっています。(→P15で詳しく紹介)

33 バルクキャリア 佐伯市
佐伯重工業
主にバルクキャリアや、荷物を乗せたトレーラー等が乗り入れて直接積みこみができるRORO船などの貨物船をつくっています。ここでつくられたRORO船「わかなづ」には、積荷のトレーラーを自動で固定できる世界初の新技術が使われるなど高い評価を受けています。(→P15で詳しく紹介)

35 マリントイレ 国東市
光電
プレジャーボートや漁船などの船で使われる装備を製造しています。プレジャーボートに装備されるトイレとしては、国内シェアが約70%で日本一。

36 埠頭で使用される大型クレーン 大分市
三井E&S
大分工場
(下を見てね)

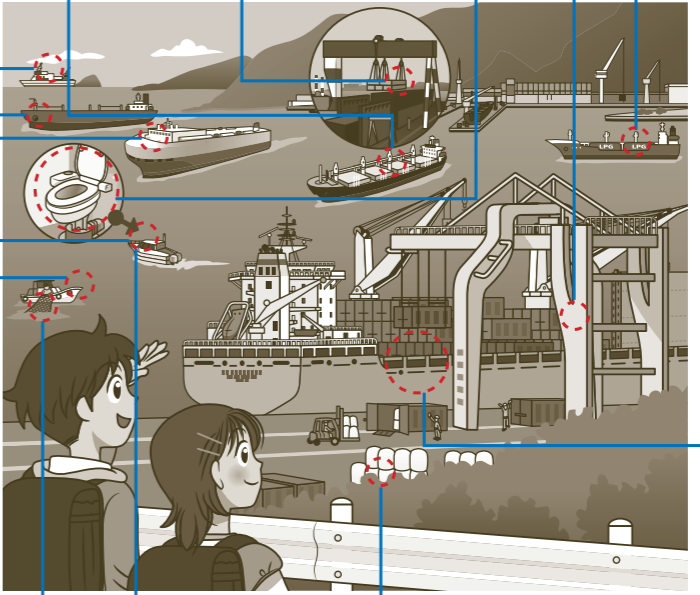
44 セメント運搬船 佐伯市
三浦造船所
セメント運搬船やLPG船などをつくっています。日本近海で航海できるタンカーなどの特殊船も数多く手がけており、船主の注文に応じたオーダーメイドの対応をしています。(→P15で詳しく紹介)

34 クレーン 津久見市
ヤクテツ
地元企業では唯一200t(普通乗用車で200台分)までのものをつり上げることのできるクレーンをつくっています。



37 ケミカルタンカー 臼杵市
下ノ江造船
ケミカルタンカーやLPG船などをつくっています。県立の海洋科学高校で使われている実習船「新大分丸」はここでつくられました。(→P15で詳しく紹介)

43 自動車運搬船 臼杵市 大分市
南日本造船
自動車運搬船など様々な種類の貨物船をつくっています。自動車運搬船は、船の中に立体駐車場をつくるように組み立てます。大分工場では大分県内で一番大きい船をつくることができます。(→P15で詳しく紹介)



38 ツインデッカー 佐伯市
本田重工業
佐伯工場
石炭運搬船などのツインデッカーをつくっています。船に、重い荷物をつり上げる大型クレーンや車が入ることのできるゲートを取り付ける技術をもっています。(→P15で詳しく紹介)

42 プレジャーボート(クルーザー)の窓ガラス 大分市
大倉
ボート・作業船・取締船等の窓や扉をつくっています。このうち、プレジャーボートに使用されている窓の生産シェアは日本でも上位です。



41 漁船 国東市
ヤンマーマリン
インターナショナルアジア
FRP(繊維強化プラスチック)の船の国内生産量で全国第2位をほこります。漁船やプレジャーボートを製造しています。



39 コンテナバッグ 中津市
日豊製袋工業
貿易などに使われる大量のものを詰め込むための袋(コンテナバッグ)をつくっています。九州で唯一コンテナバッグの耐久テストをして国連規格を認定できる資格を持っています。障がいのある人も働きやすいように、作業場で色々工夫している企業です。



145 プレジャーボート 国東市
ニュージャパンマリン九州
小型船舶の開発と製造を行っています。カタマラン型(双胴型)という安定性の高い特殊なプレジャーボートを日本で唯一生産し、東京では、新たな交通手段「水上タクシー」として活躍しています。

40 漁網 宇佐市
長浦製網所
沿岸漁業で使う刺網や定置網などをつくっています。魚に見つかりにくい網をつくる高度な技術が評価され、デンマークやアメリカなど、魚をよく食べる国々に輸出されています。

三井E&S 大分工場(2023.4月より社名変更)
コンテナ船の荷物の積み降ろしや、港でコンテナの振分けに使われている大型のクレーンをつくって、世界各地に輸出しています。生産シェアも日本一です。大分でできた大型のクレーンが日本国内はもとより東南アジア、中近東、ヨーロッパ、アメリカなど世界各地の貿易港で活躍しています。また大型の橋や高速道路の骨組みもつくっています。



大分の工業製品は私たちの生活のいろんな所で使われているんだね。